

## JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1

Tel. 03-5378-6311 Fax. 03-5378-6161 <http://www.japanphil.or.jp/> E-mail:office@japanphil.or.jp

### ■下野竜也 (指揮)



鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。NHK交響楽団をはじめ国内の主要オーケストラの定期演奏会に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍している。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演で指揮を務めている。

これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者を歴任。2011年から広島ウインドオーケストラ音楽監督、2017年から広島交響楽団音楽総監督として両楽団の発展に寄与。2023年10月、NHK交響楽団正指揮者に就任。2024年4月には、札幌交響楽団首席客演指揮者ならびに広島交響楽団桂冠指揮者に就任。

京都市立芸術大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にもあたる。

齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

### ■服部百音 (ヴァイオリン)

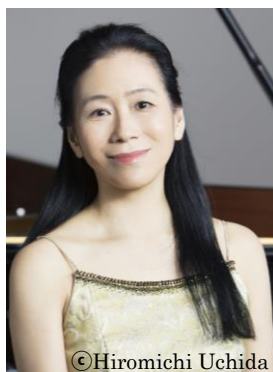


1999年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め8歳でオーケストラと共演。様々な国際コンクールで1位、グランプリなどを受賞。

2011年よりイタリアでのリサイタルを皮切りに国内外で演奏活動を始める。ウラディミール・アシュケナージとスイス、イタリア公演。アラム・ハチャトリアン音楽祭、トランス・シベリアン音楽祭などにも参加。マリンスキー劇場での公演、又ノルウェーのオスロオペラハウスでリサイタルも行った。2020年にはフランス・リストチェンバーオーケストラとドイツツアーを行うもコロナ禍により旅半ばで帰国となる。国内ではN響、読響、東京フィル、東響、日本フィルをはじめ、アンサンブル金沢、名フィル、大フィル、京響などと数々の著名オーケストラ、指揮者と共演を重ねている。2021年にはNHK交響楽団、パーヴォ・ヤルヴィとの共演を行う。2016年に発表したCD「ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン:カルメン幻想曲」はレコード芸術で特選盤等、高い評価を受けた。またこれまでに新日

鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞、ブルガリアアウローラアワードを受賞。桐朋学園大学院に在籍。使用楽器はガールネリ・デル・ジェス。

### ■小山実稚恵 (ピアノ)



圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの2大国際コンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。

2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ、第1シーズン Concerto<以心伝心>を開催。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど国際音楽コンクールの審査員も務める。

東日本大震災以降は被災地で演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、33枚をリリース。最新CD『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれる快挙を果たした。著書として『点と魂と』、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』を出版している。17年度紫綬褒章を受章。